

製品名: PDZK3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15943**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PDZD2
別名	PDZD2; AIPC; KIAA0300; PDZK3; PDZ domain-containing protein 2; Activated in prostate cancer protein; PDZ domain-containing protein 3
遺伝子 ID	23037.0
SwissProt ID	O15018
免疫原	抗血清はヒト PDZD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

背景

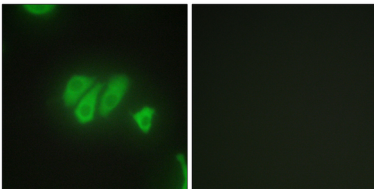
この遺伝子によってコードされるタンパク質は6つのPDZドメインを含み、プロインターロイキン-16（プロIL-16）と配列相同性を

有しています。プロ IL-16 と同様に、このタンパク質は小胞体に局在し、カスパーゼによって切断されて 2 つの PDZ ドメインを含む分泌ペプチドを生成すると考えられています。さらに、この遺伝子は原発性前立腺腫瘍において発現が上昇しており、前立腺腫瘍形成の初期段階に関与している可能性があります。 [RefSeq 提供、2015 年 12 月],疾患:前立腺腫瘍形成の早期促進に関連する可能性がある。 ,PTM:分泌型はカスパーゼ媒介タンパク質分解切断によって生成される。 ,類似性:1 つの PDZ (DHR) ドメインを含む。 ,類似性:6 つの PDZ (DHR) ドメインを含む。 ,細胞内局在:肺上皮細胞の細胞間接触部。 ,サブユニット:SCN10A、CTNND2、および PKP4 と相互作用する。 ,組織特異性:前立腺および多くの前立腺腫瘍で (タンパク質レベルで) 発現する。 ,

研究分野

神経科学; 神経伝達; 細胞内シグナル伝達; アダプター

画像データ



PDZD2 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。